

高感度レクチン検出法

細胞ライセートなどに含まれている微量レクチンの検出法。

研究成果の概要

完全長cDNAがコードする蛋白質や細胞ライセートの中から、レクチン活性を持っているものを探索するために、高感度のレクチン検出法を開発した。蛋白質をSDS-PAGEで分離した後、糖ー（ビオチン化ポリアクリルアミドポリマー）プローブで検出する方法である（図1）。植物由来のレクチンに適用してみたところ、従来法に比べ10倍以上の感度で検出することができた（図2）。さらに、この方法で大腸菌で発現させたガレクチン-3やヒト血清中のマンナン結合蛋白質の糖鎖特異的な結合を検出することができた。

成果展開可能なシーズ、用途等

1. レクチンの検出・定量
2. 新規レクチンの探索

特許出願

なし

報告書他

1. K Kamemura and S. Kato

Detection of lectins using ligand blotting and polyacrylamide-type glycoconjugate probes.

Anal. Biochem. **258**:305-310,1998.

（研究者名） 亀村和生

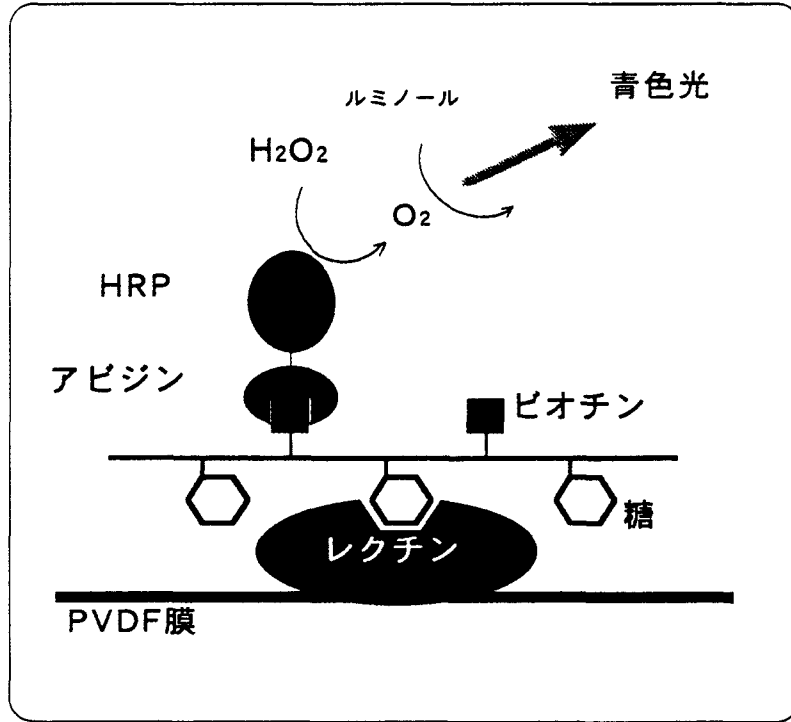


図1 高感度レクチン検出法の原理

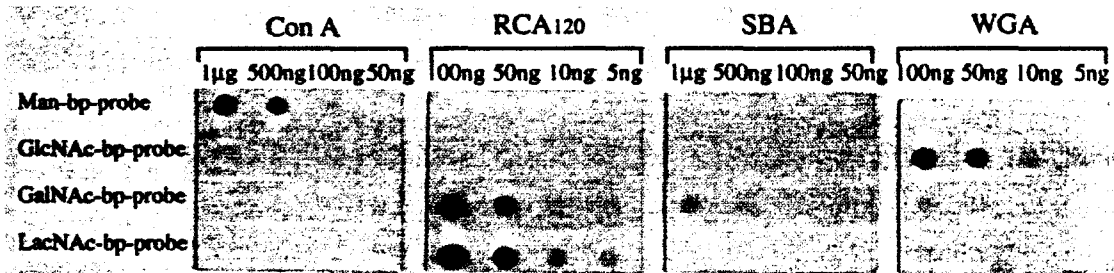


図2 植物レクチンの検出